

支部長からのお礼のご挨拶

第75回日本生化学会中部支部例会・シンポジウムは平成23年5月28日(土)に静岡県立大学で開催されました。参加者総数は173名を数え、盛況のうちに無事終了いたしました。

シンポジウムでは「生化学を巡る最近のトピックス」と題して、4名の著名な研究者によるご講演を頂きました。国立遺伝学研究所、相賀裕美子先生には「マウス生殖細胞の性分化制御機構」、大阪大学、竹内理先生には「RNA分解調節による炎症制御メカニズム」、東京大学、新井洋由先生には「生体膜リン脂質における脂肪酸鎖多様性の生物学的意義」、東京都健康長寿医療センター研究所、遠藤玉夫先生には「糖鎖異常による先天性筋ジストロフィー」という演題で、分かりやすいイントロダクションからご専門分野の最先端研究について素晴らしいご講演を頂き、大変勉強になるとともに、特に学部・大学院学生や若手研究者に多くの示唆を与えたのではないかと考えています。4名の先生方および活発な質疑・討論を頂きましたご参加者の皆様に感謝致します。

ポスター発表は演題総数67に達し、午前の部で、1分間のサマリー発表を頂いた後、午後の部では、白熱した討論が繰り広げられました。大変良い研究が中部支部で進展していることが分かりました。この中からアヴシャル-坂恵利子さん(三重大学)、南彰さん(静岡県立大学)、瀬上紹嗣さん(名古屋大学)の3名が投票により奨励賞受賞者に選出されました。

総会におきましては、まず次期支部長として自然科学研究機構・生理学研究所の池中一裕先生を推薦しご承認いただき、平成22年度の支部活動報告、会計報告ならびに次期支部幹事投票結果をご承認いただきました。次に上記3名の奨励賞授賞式を行い、成果を讃えると共に研究の一層の進展をお願い致しました。昨年に引き続き日本生化学会長の北先生にご臨席を賜り、公益法人化で支部がどう変わるのか等についてご説明を頂きました。最後に池中先生よりご挨拶と来年度の例会・シンポジウムのご案内をいただき、全スケジュールを終了致しました。

日本生化学会中部支部例会・シンポジウムにご参加いただきました方々に厚くお礼申し上げます。今後の皆さまのご研究の益々のご発展をお祈り致しまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

平成22年度日本生化学会中部支部長
静岡県立大学薬学部 奥 直人